

ピース・シード 製本管理システムを導入

中正紙工

ペーパーリングを使用

した環境対応型カレンダーなど、「環境」と「安

全」に配慮した製品提供を実践している(角)中正紙

工(本社／東京都江東区大島1-14-5、中村勝彦社長)は昨年8月、ピ

ー・エス・シー(株)の「製

本管理システムパワーアップ」を導入し、繁忙期の事務処理作業の改善に

ついて伺った。

同社は、昭和55年の創立以来、カレンダー加工

に特化し、「常に一步先

り、分別廃棄の必要がな

い。もともとは、卓上及

び壁掛け用カレンダー

が爆発的に増える。当

の綴じ具と然、生産体制もフル稼働して開発さ

れたものだけが、その独創的でデザ

を見据えた、環境にも顧

客にも優しい製本会社でありたい」という企業理

念のもと、「環境」と「安全」を提供できる製

品開発を積極的に取り組

んでいる。

その同社の「ものづくり」の方針を具現化した

や、導入後の成果などに製品が「ペーパーリン

グ」である。



躍進企業2011

21世紀の

シリーズ——ユーザー企業ルポ



中村 社長

繁忙期の事務作業を解消

カスタマイズ機能で部材メニューを充実

く、また誤って金属部分で怪我をする心配もない。もともとは、卓上及び壁掛け用カレンダーが爆発的に増える。当

の綴じ具と然、生産体制もフル稼働して開発されたものは、深夜になつてからでなければ、できないよう

いた中村社長に、「ピース・シード社から『製本

が非常に多い。その部材

の業務形態でメニュー項目を追加できるカスタマイズ機能も魅力であった」(中村社長)。

同社がカレンダー等で使用するリングは、材質や色、穴数、サイズなどを、その種類は多岐にわたりモート操作機能があ

る。そこで、ちよつとした改善も、すぐにできる点に



ペーパーリング綴じカレンダーの提案を受け、部材データの登録、各種書類発行、さらにデジタル履歴の閲覧など新機能により、同社の「ものづくり」の方針を具現化している。

その同社が、「製本管理システムパワーアップ」を導入した理由について説明する。

社長)。しかし既存ソフトでは、請求書一通を発行す

中村社長は、すぐに実際に導入している製本会社

で機能性を確認したうえで、自社の作業改善に適していると判断し、導入を決意した。

「決め手となつたのは、処理速度の速さとソフトの安定性。また各社

の要求に迅速に対応できる抽出作業を開始している。

「導入後でも、こちら